

神戈陵を渡る風

令和3年度 川辺高校 校長通信 第045号

令和4年3月2日(水)発行

昨日、三年生が新たなステージに向けて本校を巣立っていきました。明日からは、高校入試が始まります。皆さんは、自宅学習期間となります。この期間は、春休みと異なり、学校で行うべき学習を自宅で自学自習することになります。あらかじめ示された課題だけでなく、自分の学習状況を顧みて、長所を伸ばし、弱点を克服する絶好のチャンスです。あらかじめ立てた計画に基づいた行動を心がけましょう。今日は、この時期に考えて欲しいことを皆さんにお伝えします。

自分を無理やり変えようとしても すぐは変えられないもの

『人格を磨いて心をきれいにする方法』という特集記事の中から「焦らなくていいよ、自分のペースを大切に」という意味をこめて紹介します。

性格を直そうとしても、そう簡単には変えられるものではありません。誰も一度は、自分の性格を変えようと思ったことがあるはずです。

「もっと明るい自分になりたい」

「もっと精神的に強くなりたい」

と自分の性格を改善しようとしします。しかし、自分の心の問題が大きく関係しているため、今日決意して今すぐ変われるというものではありません。性格は今までの生まれや育ちが大きく関係しているため、変えることもなかなかすぐにはいかないのです。

心をきれいに变えることも、まったく同じことが言えます。というのも、性格を変えようと、心をきれいにすることは、自分の内側を変えようまったく同じ行為なのです。

表現は違っていますが「自分の内側を変えること」だという点では同じことにあたります。

基本的に時間がかかるものだと思ってください。外側だけを変えようなら、時間とお金さえあれば、すぐできます。

きれいな洋服を身にまとい、美容院でパーマをかければ、外見はすぐぴかぴかに輝きます。しかし、内側の心は、お金と時間ですぐというわけにはいきません。

自分の性格というのは、いわば「今までの過去の蓄積」です。今までの行いでどれだけ人の温かみに触れているかという経験の蓄積が、

その人の性格であり、心のきれいさにしっかり表れます。

心がきれいな人は、人のために一生懸命になってきた人であり、人との関わり合いという温かさを人一倍よく知っているのです。性格がよいのです。

人のために「態度、行動、発言」に気を使い、人の温かみがあるために、温かい性格になることができています。

私の実家がある愛媛には、田舎というせいもありお年寄りがたくさんいます。もちろんなかには若い人もいますが、若い人は仕事で都会に出ていき、少なくなります。

都会より田舎のほうが肌に合うというお年寄りは田舎のほうを好み、生活をします。私が休暇で田舎に久しぶりに帰ると、お年寄りの優しくてきれいな心にあらためて驚きます。自分の畑で取れた作物を分けてくれたり、道ですれ違ふときには必ず挨拶をしてくれたりします。困ったときには助けてくれたり、親切にしてくれたりします。長く生き、人と人との温かみのある触れ合いの中で生活しているため、みんなとても性格がよくて、心がきれいな人ばかりなのです。きれいな「態度、行動、発言」にあふれていて、お年寄りと一緒にいると私までほっとした気分になるのです。



人生に無駄はない

多くの著名人が色々な言葉でこのことを話されています。

本田宗一郎(HONDAの創始者)

人間がシンポするためには
まず第一歩を賦も出すことである。
長い目で見れば人生に無駄がない。

~作者不詳~

人生には無駄なことも
損なこともありません。
すべての経験があなたの中に
積み重なっていくんです。

所ジョージ(タレント)

無駄なことはひとつもない。

フジ子・ヘミング(ピアニスト)

人生に無駄のことなんか
ひとつもない。
生きるってことは
いろいろ経験すること。
その時は、自分とはまったく
関係のないことのようにも
その経験が大切に思える時がきつとくる。

イチロー(元野球選手)

無駄な過去はない。
失敗がないと深みがない。
遠回りが一番の近道。

昨日の卒業式の式辞の中でも述べたアップル社の創業者の一人であるスティーブ・ジョブスの言葉にも、「将来をあらかじめ見据えて、点と点をつなぎあわせることなどできません。できるのは、後からつなぎ合わせるだけです。だから、我々はいまやっていることがいずれ人生のどこかでつながって実を結ぶだろうと信じるしかない。」とありました。ここで、「点」と表現された経験は一見すると無駄のように思える体験だったりもします。私たちは、必要なものだけ取捨選択して生きることは難しいものです。自分の人生は日々変化するものだからです。

私の好きな曲に、昔ポンキッキーズ(皆さんは知らないかも?)のオープニングソングとして齊藤和義さんが作詞・作曲した曲で

「歩いて帰ろう」があります。幼児向けのTV番組の主題歌で、軽快でアップテンポの楽しい曲ですが、子どもたちや一緒に見ている親たちへのメッセージかも? と思えるその歌詞を紹介したいと思います。

「歩いて帰ろう」

作詞・作曲 齊藤和義

走る街を見下ろして のんびり雲が泳いでく
誰にも言えない事は どうすりゃいいの?
おしえて

急ぐ人にあやつられ 右も左も同じ顔
寄り道なんかしてたら 置いてかれるよ
すぐに

嘘でごまかして 過ごしてしまえば
たのみもしないのに 同じ様な朝が来る

走る街を見下ろして のんびり雲が泳いでく
だから歩いて帰ろう 今日は歩いて帰ろう

嘘でごまかして 過ごしてしまえば
たのみもしないのに 同じ様な風が吹く

急ぐ人にあやつられ 言いたい事は胸の中
寄り道なんかしてたら 置いてかれるよ
いつも

走る街を見下ろして のんびり雲が泳いでく
僕は歩いて帰ろう 今日は歩いて帰ろう

